

ひまわり会ニュース



※「ひまわり会」は尿もれ、骨盤臓器脱を克服した元患者が中心となって設立した団体です。

2005年2月創刊

※掲載記事、写真、イラスト等の無断掲載を禁じます。

発行 ひまわり会 <http://urogyne-himawari.jp/>

編集 株式会社BASE 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-5-2 立売堀ビルディング3F 32

TEL 06-6599-9802 / FAX 06-6599-9803

2024年9月18日 ひまわり会は20周年を迎えます

今年は梅雨入りが遅かったにもかかわらず、6月時点で35度を超える酷暑となりました。そして梅雨時期には、線状降水帯が発生し、地域によっては激しい雨や雷雨となったりし被害が出てしまいました。被害にあわれた方々には心よりお見舞い申し上げます。今や異常気象という言葉では済まされない事態になっています。

さて、ひまわり会は、今年の9月18日に20周年を迎えます。2004（平成16）年、大阪中央病院で主に尿漏れを治療し、快適な生活を取り戻した患者の有志たちが、自分たちのように「ひまわりのような笑顔」を取り戻して欲しいと、ひまわり会を立ち上げました。私は、2008（平成20）年に入会し、2013（平成25）年、先代の辻村節子会長からバトンを受け、現在に至っております。

ひまわり会としての主な活動は、年3回の無料電話相談と年2回の市民公開セミナーの開催です。コロナ前には会員向けに年2回の勉強会に加え、第一東和会病院にて月1回初診の方々の不安を少しでも和らげたり、お話をおうかがいして医師に的確にお伝えできるようアドバイスしたりしていましたが、今はこれらの活動はお休み中です。一日でも早く再開できればと思いますが、再びコロナが流行しているようで、まだ少し時間がかかりそうですね。

ひまわり会は「ひとりで悶々と悩まれている方々に自分達の体験を通して快適な生活を取り戻せた事をお伝えしよう!」という想いで、ボランティア活動していますが、お世話をしてくださる会員の方々の負担が重くなっているのではと思っているのが、目下の私の懸念事項です。

お手伝いしてくださる方いらっしゃいましたら是非ともよろしく願いいたします。

ひまわり会は、これからも女性の排尿障害で悩んでいる方々の少しでもサポートができるようがんばってまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

ひまわり会 会長 稲垣 隆子

INDEX

- ・ひまわり会 20周年を記念して 竹山政美顧問よりメッセージ
- ・記念セミナーのご案内
- ・第52回 電話相談キャンペーン結果

ひまわり会・女性の排尿障害を考える会 共同事務局

〒550-0012 大阪市西区立売堀1-5-2 立売堀ビルディング 3F 32（株式会社BASE内）

TEL 06-6599-9802 FAX 06-6599-9803

※ひまわり会ホームページ <http://urogyne-himawari.jp/>

※女性泌尿器科の最新の情報 骨盤臓器脱（子宮脱）手術net

<http://gogourogyne.net/>

祝・ひまわり会20周年

ひまわり会が設立されたのが2004年9月18日だったので、まもなく設立20周年を迎えることになります。最初は、尿失禁に対して新しい手術だったTVT手術を受けて尿失禁が治った患者さん達が、尿漏れで困っている患者さんにその経験を伝えるというボランティア団体を作るといことで私も協力しました。ほどなく骨盤臓器脱の手術を受けた方も会員になられて今では骨盤臓器脱を受けた方が中心となって運営されています。

活動は、外来で初めて受診される新患の方と話して緊張をほぐす(コロナ禍以降休止中)、年3回の全国電話相談キャンペーンで相談に乗る、年2回の市民公開セミナーの開催などを、ボランティア活動としてずっと続けられています。初代会長の辻村さんとその後を継いでいただいた現会長の稲垣さんのボランティア精神あふれるリーダーシップと実働会員の皆さんの熱意が、「今はもう病気は治ってしまった元患者の会」という珍しい患者会が20年も活動できた原動力になっていると、改めて敬意を表します。これからもよろしくお願いいたします。



ひまわり会顧問
第一東和会病院女性泌尿器科
ウロギネコロジーセンター長 竹山政美
※竹山先生の写真は医療新聞様より転載させていただきました

20周年を記念したセミナーを開催いたします。
ぜひ、ひまわり会会員の皆さんもご参加ください。



ひまわり会は、健保連・大阪中央病院で尿もれの治療をしたことがきっかけで知り合った患者たちが中心となり、平成16(2004)年9月18日に発足いたしました。そして、今年発足から20年を迎えます。

9月に行う電話相談キャンペーンは第53回を数え、累計約17,000件ものご相談を受けています。

そして、今回20周年を記念し、下記の通り、20周年記念セミナーを開催いたします。今回は、竹山先生のセミナーの他に、岐阜赤十字病院から三輪先生をお迎えし、女性泌尿器科などについて対談いただきます。さらに、日本製のメッシュを開発された株式会社クラウンジュン・コウノさんにもご講演いただきます。ぜひ、ひまわり会の会員さまもご出席くださいませ。よろしくお願いいたします。

20周年 記念セミナー概要

※内容は変更になる可能性があります。ご了承くださいませ。

- 開催日時 2024年9月13日(金) 12時半開場 13時開演 (~16時予定)
場所 株式会社リファレンス 大阪駅前第4ビル貸会議室 2307 TypeA・B
〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目11-4 大阪駅前第4ビル23F
- 募集予定人数 80人(最大100人)
- 内容
- ひまわり会 稲垣会長挨拶
ひまわり会 20年の歩みとこれから
 - 経験者体験談
 - 基調講演 ①竹山先生セミナー(尿漏れ・骨盤臓器脱 最新治療)
②竹山先生と岐阜赤十字病院 三輪先生対談
女性泌尿器科の設立と歩み・現在
世界における女性泌尿器科・治療 など
 - 日本製初のメッシュ 株式会社クラウンジュン・コウノさん 講演
日本製のメッシュの開発と現在
 - 骨盤底体操

お申込みは、ひまわり会事務局 TEL:06-6599-9802までご連絡ください。

※ FAX<06-6599-9803>、E-mail<info@urogyne-himawari.jp>の場合は、お名前、ご連絡先、ご参加人数をご記載ください。

第52回 電話相談キャンペーン集計
2024年6月24日～27日 13:30～16:00
相談総数:84件

総論

全体の相談シートをまとめると、以前と比べ何らかの形で受診された方が多いように感じました。しかし、受診後気持ちよく生活されている感じではなく、適した診察をされなかった、ペッサリーの装着の不快感などのお悩みがあり、どこにも相談できなかつたとお声も多かつたです。また、手術後のお悩みを抱えている方もおり、今後このようなご相談が増えることも想像できる。

一方で、4、5年悩んでいる方もまだまだ多く、間違つた(腹圧を鍛える)体操をされている方もいらっしゃいます。

1. 相談者のお住まいの地域

北海道	1
関東圏(東京7・埼玉6・千葉5・神奈川5・茨城1・栃木1・群馬2)	27
関西圏(大阪29・京都4・兵庫7・滋賀1・奈良1)	42
中部・北陸(名古屋1・長野3)	4
東北	0
山陰(広島3)	3
九州(福岡1)	1
四国(愛媛3)	3
不明	4

2. 年齢層

～50歳	0
～60歳	2
～70歳	16
～80歳	46
81歳以上	18
不明	2

**ご相談内容(一部抜粋)**

- 電話相談の記事が載るのを待ちに待ってました。なかなか相談しにくい内容なので、相談ののってくれるのはうれしい。
- 4月中旬に某医大に受診し、7月に子宮をとって縫い付ける手術をしたが、不快感があり地獄の日々を送っている。
- 2019年に手術を行った。しかし、痛みはないが不快感がある。残尿感があり膀胱炎になった感じがある。81歳だが、普通に体力もあるので、行動でき旅行にも行きたいが不快感があるため行けず辛い。医師に相談しても様子を見て下さいとのこと、納得のいく説明がない。
- 入浴時に膣に卵状のものが手に触れる。寝て起きると尿漏れになりそうで辛い。尿も細い。
- 2013年からペッサリーを装着。しかし、2021年ごろから出血したので外したがその後の処置がない。
- 2023年11月浴室で骨盤臓器脱に気づく。婦人科を受診したが様子を見ようと言われたが不安。
- 近所の婦人科を受診し、大病院を紹介されペッサリーを装着し始めたが2か月目に取れた。手術を、と言われたが不安。
- 10年前の子宮がん検診で骨盤臓器脱と言われた。8年前に骨盤底筋体操をするように言われたがどのようにしたらよいのか適切なアドバイス
- 2、3年前からペッサリーを装着。現在は何とか持っているが、今後の情報を知りたい。
- 50歳くらいだった25年位前に子宮を摘出している。現在違和感を感じている。
- 10年前くらいから便秘が酷く、今はいきむと出てくる。
- 30年前(今74歳)に子宮筋腫で子宮を摘出。4～5年くらい前から下がっている感じがして近所の産婦人科で受診中。直腸瘤といわれている
- 出産が難産だった。20年位前(今78歳)に骨盤臓器脱となりペッサリーを装着。しかしペッサリーを外すと膀胱が出ている様子。
- 2019年某病院にて骨盤臓器脱・膀胱瘤の手術を行った。しかし、再発した様子。でも再度手術はしたくない。
- 今年3月手術したが、術後について経験者の話を聞きたい。
- 4月末から膀胱が下がっている感じで泌尿器科を受診したがいたしことはない、と言われたが不安。
- 20年前(50歳くらい)から膀胱が下がっているがそのままいいと言われているのでそのままにしているが不快
- 5年前から膀胱瘤と言われペッサリーを装着。以降、2～3か月毎に内診。尿の出方がすっきりしない。
- 手術日が決まっている。便秘がひどい。経験者の話を聞きたい。
- 3年前に症状が出てペッサリーを装着。しかし苦痛。トイレが近く、早歩きをすると尿漏れをする。
- 現在82歳。60歳のときに子宮脱と言われ子宮を摘出したが、また症状が出てきたのでペッサリーを装着。しかし、出てきてしまうので、どうしたら良いかわからない。
- 現在56歳。20年位前から婦人科に受診。ペッサリーを装着しているが赤くなっていて痛い。
- 5～6年前に膀胱瘤と言われたが様子を見ていたが、昨年泌尿器科を受診。男性ばかりで受診するのが苦痛。
- 便秘で子宮脱。「高齢だから仕方がない。我慢できますか」と言われたので我慢している。(83歳)
- 10年前から不快。たぶん骨盤臓器脱。歩くのも大変な状況。病院に行っていないのでどこに行けば良いのか。
- 3年前から骨盤臓器脱。ただれてきたので自分で装着できるようにしたい。手術はいやなので、自分で装着できるアドバイスがもらえる病院を
- 膀胱瘤で昨年9月に手術。4日間入院して退院して1週間てまた下がりはじめた。再度今年2月に手術したが、また下がり始めた気がする。

ひまわり会 インフォメーション

(予告なしに変更になる場合があります。ご了承ください。)

ひまわり会 竹山政美顧問

「Best doctors in Japan 2024-2025」に選出されました。

竹山先生が選ばれるのは今回で4回目です。

「Best doctors」は、米国ベストドクターズ社が、世界における膨大な数の医師に対して、「もしあなたやあなたの家族が、あなたの専門分野の病気にかかった場合、どの医師に治療をお願いしますか？」とアンケートを行いその中で治療能力、研究結果、最新医療情報への精通度などを考慮した上で、ある一定以上の評価を得た医師をBest Doctorsとして認定するものです。

竹山先生は、「今回も選ばれたことに恥じないウロギネコロジー診療をしていかなければ、と身が引き締まる思いだ。」と感想を述べられています。



TOPICS

9月9日 骨盤臓器脱 克服の日

骨盤臓器脱への認識を高め、諦めずに治療し、克服してもらうことを目的としてひまわり会が申請し設定しました。日付は骨盤臓器脱の英語表記が「Pelvic Organ Prolapse」で、その頭文字からPOPと略され、POPと909の形が似ていることから設定しました。

日本記念日協会(所在:長野県佐久市)より認定を受けました。

ボランティア募集

ひまわり会では、年3回の電話相談キャンペーン、年2回の市民公開セミナーを実施しています。その時に電話でご相談を受けたり、セミナーで受付などのお世話をしているのが、ひまわり会の会長他8名です。皆さん自分が困っていたからこそ、ひとりでも多くの方のお悩みを少なくしてあげたい、その一念でボランティアで行っているのですが、なかなか手が足りていません。

そこで、もしお手伝いをしてくださる方がいらっしゃいましたら、ぜひ下記事務局までご連絡ください。どうぞよろしくお願いいたします。

※電話相談の都合上、できれば手術を経験された方が望ましいです。

[最新の情報は下記、ひまわり会ホームページまで・・・](#)

urogyne-himawari.jp

【ひまわり会 尿もれ 骨盤臓器脱】で検索すると上位に出てきます。

お知らせとお詫び

ひまわり会事務局では、引き続きリモートワークを行っています。そのためお問い合わせのお電話やメールにすぐに対応できない場合があります。必ず折り返しご連絡いたしますので少しお待ちください。

また、昨今の電話相談キャンペーン時には、いつも以上に電話が込み合い、「全く電話が繋がらない」などのお叱りをお受けすることが多々ございます。ひまわり会ボランティアスタッフ全員精一杯ご対応しておりますのでどうかご了承のほどよろしくお願いいたします。

その他お問合せは、下記までご連絡ください。

ひまわり会事務局 TEL:06-6599-9802

※ FAX<06-6599-9803>、E-mail<info@urogyne-himawari.jp>でも受け付けています。